

パフォーマンス部門

徳島市立高校

アーティストの発掘と支援を目的にした「フリースペースチャレンジとくしま芸術祭2019」(徳島県立近代美術館、県立21世紀館主催)が、2月5日から17日まで県立近代美術館で開かれる。一般に交じり高校生も参加し、若い感性を生かした舞台や展示を披露する。「パフォーマンス部門」に出演する阿波高ダンス部、徳島市立高ダンス部と、「展示部門」に出品するikurah(イクラ)さん(17)「本名等原春稀、名西高2年」に意気込みを聞いた。(田尾聡)



そろいのチームウェアで練習する徳島市立高ダンス部員—徳島市立高校

6年連続で出演する徳島市立高ダンス部の25人は、毎日練習に励み、毎ジャンルで競うパフォーマンス部門。宮本さんは「ハイスクールミュージカル」をテーマにした。米国の高校生を鮮やかに描いた同名の映画ながら、若者の純粋さや青春の輝きをダンスに込めて表現する。

挿入歌など9曲を編集して盛り込み、曲ごとにメンバーが入れ替わりで登場する趣向。衣装や振り付けも変化に富み、シーンごとに高校生活を連想させる工夫がある。キャプテンの2年宮本愛理奈さん(17)は「一つの物語を見る感覚で楽しんでほしい」とアピールする。衣装の早着替えにも注目だ。

昨年チャレンジ奨励賞を受賞。今年はグランプリを目指し、毎日練習に励み、毎ジャンルで競うパフォーマンス部門。宮本さんは「20人を超える大人数で踊るダンスの迫力は他にはない。気持ちを一つにして、統一感のある舞台にした」とと健闘を誓った。

大人数で迫力の舞台



「気持ちを一つにして挑む」と誓う徳島市立高ダンス部員